

学校評価計画表

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の評価・意見	次年度への課題と今後の改善方策
基本的な生活習慣の確立を図り、望ましい校風を樹立する。 （挨拶の励行）	①挨拶を励行する。 ②出席率を向上させる。 ③「生活習慣改善プロジェクト（元気なあわっ子！応援事業）」の取組を充実させる。 ④個人面談週間を年間指導計画に位置付ける。 ⑤地域とともにある望ましい学校づくりを推進する。	評価指標 ①日常生活における挨拶を励行することで基本的な生活習慣を確立する。 ②さわやかで活力あふれる富東生を目指し、出席率を80%以上とする。 ③生活習慣改善目標を自分で設定し、自己評価において「十分できた、できた」と回答する率を55%以上とする。 ④個人面談を実施し、生徒とコミュニケーションを図ることにより、生活習慣、学習状況等の把握に努める。 ⑤ホームページの年間30回以上の更新に努め、学校への理解の推進を図る。	評価指標の達成度	総合評価（評定） <hr/> （所見）		
		活動計画 ①毎日の昇降口指導を実施し、生徒への声掛けを積極的に行う。 ②生活習慣改善プロジェクトを計画案に沿って実施する。 ③各学期当初に、個人面談週間を設定し実施する。 ④お知らせや行事等のタイムリーな情報を分かりやすく提供する。	活動計画の実施状況			
職業と学業を両立させるたくましい精神力と豊かな人間性を育成する。	①たくましい精神力の育成に向け、健康相談・教育相談を充実させる。 ②関係諸機関との連携により、個々の生徒に応じた就労支援を行う。 ③高校生活の意義を伝えるとともに、人間性豊かな生徒を育成する。	評価指標 ①課題の把握により、教職員の共通理解を図り、支援方針を立て解決を目指す。 ②就労生徒へのサポートを行い、職業と学業の両立を図る力を育成する。 ③進路ホームルームや行事、日々の指導を通して、積極的に高校生活を過ごす姿勢を養う。	評価指標の達成度	総合評価（評定） <hr/> （所見）		
		活動計画 ①職員室隣室を必要に応じて使用し、スクールカウンセラーと協同して支援にあたる。 ②関係諸機関と連携し、就労に関する情報の収集を行い、個々の生徒に応じた就労相談・職場訪問や開拓等を推進する。 ③進路指導に関する行事や体験活動を充実することで、人間性を伸長する。	活動計画の実施状況			

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の 評価・意見	次年度への課題と 今後の改善方策
生徒一人一人の 基礎学力の向上 と進路指導の徹 底を図る。	①読書活動を通し て、読む力、想 像力や表現力を 培う。 ②「漢字スキル学 習」を継続的に 行い、漢字の基 礎力を養うと共 に、丁寧に字を 書く素地を養 う。 ③各種資格試験や 検定試験にチャ レンジさせ、知 識・技能の向上 を目指す。 ④能動的な学習態 度を身につけさ せるとともに、 基礎学力の向上 を図る。 ⑤自己理解及び社 会理解を深め、 卒業後の進路実 現に向けて意欲 的に行動する姿 勢を養う。 ⑥アフターサポ ートを徹底し、 基礎学力の定 着を図る。	評価指標 ①授業等で年間25回以上学校図書館を利用す る。 ②各自に応じたレベル別の課題に取り組み、 40%以上の生徒が上のレベルに上がることを 目指す。 ③各種資格試験や検定試験の受検者数6人 以上を目指す。 ④始業前や放課後に自習が行える環境を整え る。 ⑤卒業後の進路について自ら考え行動できる よう、キャリア教育を充実させる。 ⑥欠課補講及び欠点補講をそれぞれ年間2回 実施する。	評価指標の達成度	総合評価 (評定) ----- (所見)		
		活動計画 ①生徒に学校図書館を利用させ、様々な分野 の読書を促し、読む力、想像力や表現力の 育成を図る。 ②個々に応じた指導を心掛け、毎日の「漢字 スキル学習」に取り組み、丁寧に字を書く 練習を行う。 ③「漢字スキル学習」の活用や、各教科担当 教員と協力し受検奨励及び対策を行う。 ④資格試験の勉強や予習・復習を意欲的に取 り組めるようにプリント等を準備し、基礎 学力の定着を図る。 ⑤進路指導ホームルーム、進路講演会、企業 見学等を充実させる。 ⑥全教職員で学習支援に取り組み、基礎学力 の定着を図る。	活動計画の実施状況			

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価		学校関係者の 評価・意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
家庭や地域社会との連携のもとに生徒指導の充実強化に努め、安全指導の徹底を図る。	①家庭・関係機関との連携を図る。 ②災害時の対応力を養う。 ③安全教育の啓発を励行する。 ④個に応じた生徒指導を徹底し、生徒一人ひとりの課題解決能力を高める。	評価指標 ①生徒の健全育成のため、家庭・学校・関係機関が連携を深める。 ②防災・避難訓練と心肺蘇生・AED講習を年間合計3回行う。 ③安全教育の授業を年間3回以上実施する。 ④生徒の情報共有のための職員打合せを毎日2回行い、生徒一人一人の課題に応じて、教員全員で粘り強く指導にあたる。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
		活動計画 ①生徒の犯罪を未然に防止するため、祭礼時・各学期の街頭補導、PTA研修・家庭訪問などを実施し、生徒をサポートする。 ②防災・避難訓練を通じて、災害に対する事前準備と、災害発生時の正しい対応力を身に付けさせる。 ③年間計画に沿った安全教育を実施し、自主的な行動を身に付けさせる。 ④生徒の情報共有のための職員打合せを実施し、様々な情報を共有することで、個に応じたきめ細やかな指導を行う。	活動計画の実施状況	(所見)		
教育活動の全領域において人権教育の徹底を図る。	①いじめ等の問題行動の未然防止に努める。 ②人権講演会を充実させる。 ③自主活動への参加を促す。 ④職員研修を充実させる。 ⑤「人権新聞」を制作する。	評価指標 ①いじめ・悩みアンケートを年間3回、基本的な生活習慣調査を年間1回、それぞれ実施する。 ②人権講演会を年間2回実施する。 ③身元調査お断りワッペン運動に参加する。 ④人権講座等の研修会に全教職員が1回以上参加する。 ⑤人権委員会を中心に生徒からの感想をまとめ、年間3回発行する。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
		活動計画 ①各種アンケートを実施し、生徒の状況把握に努める。 ②生徒の身近な内容を取り上げる。 ③生徒の実態に応じて呼びかける。 ④研修受講後も意見交換をきめ細かにを行い、「人権の視点」を日常的に持つことを相互確認する。 ⑤人権ホームルームや人権講演会の感想等をまとめる。	活動計画の実施状況	(所見)		

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の 評価・意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
生徒の個性と自主性を開発伸長させ、有為な社会人を育成する。	①地域の清掃ボランティア活動への参加を促す。 ②計画的な「総合的な学習(探究)の時間」の実施に努め、個性と自主性の開発伸張を図る。 ③個性発揮の機会として、定通連の美術作品展や球技大会への参加を奨励する。 ④活躍の場を提供できる教育活動を展開し、校外行事への参加率を高める。 ⑤将来、社会人として必要とされるマナーを身に付けさせる。	評価指標 ①清掃ボランティア活動を年間1回実施する。 ②「総合的な学習(探究)の時間」の適切な学習評価を実施するため、年間学習計画を作成する。 ③定通連球技大会への参加を15%人以上、美術作品展への出品数を20以上にする。 ④様々な校外行事への参加率を55%以上とする。 ⑤日々の指導を通じて、挨拶、話し方、聴き方、周囲への配慮等、社会人としてのマナーを養成する。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
		活動計画 ①地域の清掃活動へ参加することで地域社会に貢献し、社会への主体性と奉仕の精神を養う。 ②生徒の個性と自主性の開発伸張を図るため、それぞれの興味・関心、能力、適正等を考慮する。 ③美術作品作りや球技大会の練習等について、各教科の教員にも協力を得る。 ④生徒にとって有意義な経験ができる企画立案をする。 ⑤社会人としてのマナーを養成するために、日々の声掛けとともに、マナー講習等を実施する。	活動計画の実施状況	(所見)		
教職員の資質向上と、教育条件の整備充実を図るとともに、教職員の働き方改革を推進する。	①自己の教育課題の解決のために、様々な研修を受講し、各自のスキルや意欲の向上を図る。 ②教員の働き方改革を推進する。	評価指標 ①教員研修を様々な形態で20回以上実施することにより研究と修養に努め、教員の資質と専門性の向上を図る。 ②定時出勤定時退勤ができるよう、予防的指導の徹底を図る。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
		活動計画 ①全教員が各研修を積極的に受講し、実践力を高める。 ②始業時と終業時の毎日2回の打合せで、情報共有や連絡の徹底を図り、些細なことから対処する。	活動計画の実施状況	(所見)		